

あなたに

出逢えて：

— 第二十号 —

*** **

— 司会 —

あけましておめでとうございます

今年もよろしく願いいたします。

平成十八年度第一回一月のはるみ会を始めさせていただきました。

今年もまた、はるみ会の大きな輪がもつともつと広がって絆がもつともつと強くなりそうですようにと願っています。いろんな話を聞かせて頂くことを、本当に楽しみにしております。今日この日を目指に、お正月の忙しいなかを一生懸命この日があるからと思つて励みにしてまいりました。

皆さんの顔を拝見しても、とてもぼかぼかとしたような感じで、本当に器をきれいに磨いていらつしやっただなあとこの気がいたしました。どうか本当にたくさんのお土産を頂いて帰りたいと思います。

では、先生のお話からお願いたします。

* * * * *



いろんな人との出逢いの中で私の役目は、いろんな方の背中をおす役目だなと：やはり一番とても嬉しいのは、そういう力を持っていて、潜伏していて実際その人が甦って私に近づいてこられて、どんどんどんどん変わられていく姿をみて

あーこの方は、こういうお力を持ってお役目があった事に目覚められてよかったですね。私もこのはるみ会は絶対潜伏している人達の集まりと思っと思っていますし、何らかの形で以前にご縁があった方だと思います。

前から前世の話をよくしますが、前世は、必ずあると思うんです。

輪廻の流れの中で生まれてきてますから、「生命と魂とはどういう風に違うんですか？」と、この前、蘭さんから質問された時にお答えしたように、

生命は受精した瞬間入って生きてご両親のDNAを全部うけますよね。

魂は、その時に入ってきて死ぬ時に古着を脱ぎさるるように生命は終わるのでですけど魂は、行き通りにしているんじゃないかと思えます。だから現実このように生きていてもいろんな形で思い出したりするのは、魂がなんらかの形で動いているからだと思います。

だからそれをプラスにしなければいけないですよね。

生きている以上は、このような前世からの流れがある状況の中に生きている自覚があれば楽なんです。人間いろんな感情の中で生きているのできついんですけど、自覚して納得すれば違ってくるんですよ。

私自身も今年は私自身の為ではなく人に力を与えたいので、大きいお神様参りをさせていたただきたいと思っています。

これは、土地なんですよね。

そのお神様の地場だともうんですよ。

自分自身が力をつけてみんなに分けたいなということが、今年の年頭の願いであります。

はるみ会は根っこにありますので、本当に大事にしていきたいと思っていますし、一人一人が成長されていくのを楽しみにしております。やはり必ずなんらかの形で以前の私とは違ってこういう風な考えになりました。とか、人に対して思いがこんな風に変わったんですよ。という事を気付かれて、それをご家族の方やお友達に浸透されていく事が私の願いで結局、はるみ会でいつも言葉は違いますが、同じ内容の事を言っていると思うんですよ。

やはりそれを積み重ねていくことで、みなさんに知らないうちに力が付かれています。

るような気がします。

一番大事な事は、高慢が敵なんですよね。

人間世界においては知識を得ているんな事を高める事が大事なんですけど、それ以前に高慢がなかったらスイスイスイスイと、浸透していくとおもうんですよね。

だから一番の敵は、おごり高ぶった気持ちになった時は色んな事、マイナスが動き出すんじゃないかと思います。

とにかくはるみ会にいらしたら、必ず絶対なにかプラスにして帰ってほしいとおもいます。ここはそういう場所だと思いますし、お互いがふれあいながら本当に一皮一皮汚いものをむいていって、赤ちゃんの時のような気持ちにどんどんどんどん帰っていかれたらいいなと思います。

今年私は、我が身の為はすべて捨てました。

だから「人様の為」に生きていこうと思っています。

その為には、時間も惜しまないしスムーズに時間も

神様が、スーツスーツと、取ってくださいさっている気がします。

もう新たなる出発ができたような気がして凄く燃えています。心は冷静なんです。

やはりみんなと同じで私もひとりの女としてここに参加して座っているのです。

が、でもチェンジし色んな言葉がでますので、その言葉がご自分にとって必要なん



だとか、この言葉をいただいたとか、この言葉を發揮点にして奮起しようとか思われたらそれがありがたい事だとも思います。

その時その時によって出す言葉はちがうんですけどやはり見守れているような感じがするんですよ。この部分だけベールにつままれてこの時間帯のこの大事な時間をしっかり月か星が見守っている気がします。だから私も皆さんに教えられて学んで行きたいとおもっていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

*** 今回は皆さんのお話の中で特に印象に残ったお一人を抜粋させて頂きました ***

— 笑笑さん —

今年は、凄くいいお正月を迎えさせて頂いて、凄く綺麗な気持ちで迎える事が出来ました。

私は、少しずつしか前に進めないんですけど、でも、新たな気持ちで自分の歩幅で頑張っていこうと思っています。

日曜日なんですけど、常磐さんから

「笑美さん、キャッシュカードとデオのカードを拾ったんですけど落とししていませんか？」

と、お電話を頂いて、まったく気付かなくて、ちよつと待つて下さいと、お財布の中を見たら、私ちやんと落としていて、常磐さんが、私が拾ってますと、もうビツクリしました。それが、まる一日過ぎた事だったんです。

先生のお宅にお伺いさせていた時、先生のお宅の横の駐車場に置いて、次の日に常磐さんがたまたま、別の用事で、別の処に來られて、まったく同じ場所に車を止められ、そして私の名前が書いてあるカードを拾い、お電話をされたんです。

—— わー、凄い！ ——

もうビツクリしまして、一日経つて増してや、キャッシュカードだったし、デオのカードも凄く悪用されて、一杯請求される事があるという事を聞いたので、もう、常磐さん有難うございます、って思いでいっぱいです。

この事を紫苑さんもお話をしたら、神様というか先生の方がバーっと、取らないで取らないでと手で覆いかぶせるように隠されて、常磐さんにだけ気付かれるようにされたのよね。

まったくその通りだなと思って、本当にありがたかったし、自分の物を落として
気付かない、という間抜けさというか、今までの自分と重なって。

でも、それをちゃんと助けてくださる方がいらっしやるんだなど、本当に心から
感謝をする、今年の初めのとても有り難い出来事で、また、勉強になることでした。
本当に有難うございます。

皆様これからも本当に宜しくお願い致します。

— 先生 —

はるみ会の方たちは絶対縁が深いので、今さっきの話で常磐さんが採されたとい
うのも、常磐さんがやはり絶えず二十四時間休勢で、心の中に、修復して人の役に
立たないといけないなというのが、物凄く出来上がってあると思うんですよ。

笑笑さんの一件も、たまたま笑笑さんと常磐さんだったけれども、他の人の物が
見つかっただとしても同じような事をされたと思うんですよ。

気付かされる。わざわざ見るのではなくて、不思議にさせますものね御神様って。
御神様って言ったら、アマテラスやスサノオや色々な神様おられるけど、神様っ
て最終的には自分の中にある何かじゃないのかなって思うんですよね。



だけでも、俗に言う神様っていうのは、信じる心というか、はるみ会で頂いた何かに値すると思うんですよね。こういう神様というのは。

だから、はるみ会の理が動いたな。理が動いて常磐さんはススススと動いてパツと見たら笑笑さんのだったっていう。

でもその時、常磐さんの体全身の中に、自分も生かさせてもらいたい。
“自分は十分幸せ。だったら尚こそ何か役立つ事をしないとけない”。

と、いうサイクルがどんどんどんどん回っているんじゃないかなと思うんですよね。という事はやはり毎月はるみ会に来られて、知らない間にそれを重ねて来られて、そこまでなられたのではないかと思うんですよ。

だからいい事をする為の、かつこ良いとかじゃなくて、自分自身の人間性を作る為の集まりで、知らない間についていったんじゃないかな。

でもこれが一番大事で、主婦の方もいらっしゃるし、学校の先生もおられるし、色々な立場立場におられるけど、これが發揮出来ると思うんですよね。

いよいよ大変なときには、きつと私は落ち拝借で言葉が出たりすると思うんですけど、ここで手を差し伸べなかったらこの人かわいそうにという時は絶対しているみたいですね。

でも貴方まだ頑張って出来るよ、甘えすぎちゃ駄目ね、貴方が伸びないからね。

私に甘えて私が答えを出して差し伸べても良いけど、後一步踏ん張らないと貴方は大きくなれないから、頑張って頂戴ねっていう時もあるわけですよ。そういう時はちよつと厳しいかもしれないけど、自分自身ではない言葉がポンと出るわけですよ。

その時は、あらつと思つて氣になるんですけど、でも何か言わせられたし、そういえば彼女の為に、彼女の前進の為に私はこういう言葉が出たんだな、と思うとちよつと自分で安心するんですよ。

そしたら、後は自由自在にして下さって、何らかの形でその本人が反省したり、これじゃいけないんだ、自分が強くならなくてはいけないんだ、と思われる事が一つの学習であつて、私は間違いではなかったな。

こそこそと影で言いたくはないものですから、本人にそのまま話した方が良く、出る言葉を受けられて、学んで欲しいなと思うんですよ。

常磐さんとも色々な話をしてきて、

「貴方はこうなっていくのよ。こうなっていくのよ。絶対こうなるのよ。」と話してこさせて頂いて、だんだんだんそれに近づいて、ご自身が自信を持たれて、とても豊かな気持ちはずつと作られていかれて、病だった時が嘘みたいになられてあるんですよ。

それは私にとつてとても「あーよかったな。」って本当に有難く思うんですよ。だから、はるみ会におられる方はそこを一番勉強して頂いて、それが必ずご自身だけじゃなくて、周りの方の爲にどれだけ役に立つかという事を、しっかりと認識されて、今年一年送って欲しいと思います。

一年の初めにこういう不思議な話を聞かせて頂いたという事は、これを違う事に置き換えても、大きい事なんですよね。これは小さいはるみ会なんですけれども、どんどんどんどん幅が広がって日本になるわけなんですよね。家庭という小さい社会があつて、大牟田があつて、福岡があつて……

小さい社会だけど、学校もあるし、でも段々段々力が出ますと、いざという時見えない所で、バンド力が出るわけですよ。その為の学習を予習復習しているような気がしますね。

見えない部分で皆さん宿題を持って帰つてね、その宿題の応用問題を解いて、答えを出してここへ持つてきてあるのかもしれませんね。

今は足並みがそろつて、色々その人の特徴など色んなものがありますけど、良い所ばかりが伸びてこられて、ほんと切磋琢磨しながら良い人間に進みましようという感じになつてこられたなと思います。

宗教へ走る事は決して正しいとは言えないですよ。やはり宗教に頼っている

間は、信仰も自分自身の信仰なんですよね。そこのお神様に参れば安心するならば良いんですけども、やはり私たちのレベルで、はるみ会でこれだけ学習させて頂くと、お神様に対しても、「お願いします」では無く、

「有難うございます」

「御礼申し上げます」

というような言葉に代わっていかれたらもつと良いんではないかなと思います。

やはり年の初めのこの有難い月にまた一つ勉強させて頂いて、私は本当に幸せだなどと思います。

心がとても幸せだなど思います。

やはり、一日一日が大事で一時間が大事、時間がとても大事なので、その時間に對して有効に生きて、また考える事も、時間を感謝しながら、自分の置かれている存在を省みてですね、歩んで行って欲しいと思います。

一月の初めで、感謝感謝の敷時間でした。どうも有難うございました。



*
*
*
*
*

何か皆さんからのお話というかご質問はございませんか？
はい、お願いします

— 蘭さん —

こんな事申し上げてなんですけど、先生教えてください。

何か有った時に相手を変えようと思っても相手は変わらない、自分が変わらないと、という事ですね。そうなった時に自分はどう変わったらいのか、どうしたら変わるのかという、変わる事自体が全然分からなかったんですよ、それが、ちょっと苦しかったんですよ。

でも、自分なりに変わるっていう事が自分を磨き上げる事によって変わっていくのかなというふうに、自分なりに思いました。そこにまたプラスして人格の面になるんですよ、そうすると、今度は魂を磨く。

魂を磨くって目標をそこに置きたいと思ったんですよ、どうしたら磨けるのじゃないか？

今、蘭さんおっしゃっていたでしょう、

最初一人の人ターゲットで言ってあったんですよ、で、何人か人間が出てきてね、だから、色んな方に対して何時も、そこにぶつかっちゃって

銘々一人一人違うわけですよ、相手によつて、でも、求めている間は変わらないんですよ。

“ 求めている間は欲だから ”

相手に良くなつて欲しいというのは欲なんですよね、自分の。

“ 自分の欲 ”

だから、その欲を捨てちゃうと変わつて欲しいと思わないんですよ。

良くなつて欲しいから変わつてほしいと思うけど、欲なんですよね。

いつか、遠慮も高慢なのよつて言つた事あるけど、それと一緒に変わつて欲しいと思つている間はやはり、大変だと思つてすよ。

だから、その人に完璧に合わせてしまうと、とても楽なんですけど、出来ないんですよ、とにかく滅茶苦茶だから相手が、それにあわすつて事は、こつちも滅茶苦茶のこれの下にいかなくてはいけなからね。



だから、簡単に：そうですわね相手に何か相当無い限り変わらないと思います。

自覚されたら変わると思いますが、でも、その自覚されるには、交通事故に遭うかもしれない、大きい怪我をされるかもしれない、火事になるかもしれない、相手がそれだけ性（しょう）が強ければ強いほど、何かの結果が出るわけですわね。

というのは、その人自身だけが生きているのではなくて、特にそんなに個性が強い方って言うのは因縁めいて生きているので、本来持つているものではなくてさせられているようなところもあるわけですわね、変わって欲しいと願うぐらいの相手の方はですわね。

あの人の个性的だけどやっていけるわ、っていう人が普通一般多いけど、変わって欲しいこの人、このままじゃ大変、私も苦しいしその人も何とか助けて欲しいというのは、相当強い念があるから、簡単には変わらないんですわね。

だから、蘭さん自身がその人を見分けして、この人は私の言葉である程度変われる人ならば、言葉を通して変わる事ができるけど、それでも、やはり自分を捨てて言葉をださなくては駄目なんですわね。

自分が、が有ったら駄目なんですよ。

貴方だけに、貴方だけの言葉をださないといけないんです。

もっともっとひどくて、因縁めいてる人は、どんなに相手の事を思っても、

わけわからぬ事本人も思うし、逆恨みもされて難しいんですけど。

軽い人の場合は完全に、全部自分を捨てて、そしてその人の波動に合わせる。

そしたら、その人は満足なんですよ、それが満足しちゃうと、やはり人間ですから申し訳ないない、とか反省とか起きて今度は逆に相手をじつと見るんですよ、無意識の内に、意識じゃなくって、相手に伝えようとか変えようとかいう心、それが相手に通じるまでには、相当時間がかかるんですよ。

だから、実際人間としての体験なんですよ、それを乗り越えないと”魂”磨かれないと思うんですよ。

だから、波動を取ったらいんですよ、波動を取るのには難しいんですけど…

やっぱり、一人でも多くの人と接触すると分かるんですよ、ただ友達付き合いはだめですよ、お助けする、この人の為後にたどうって言う気持ちで接触する人が百人ぐらいになるとある程度はわかるんですよ。

というのは、訓練させられるから、この人助けさせていただきますよというので、自分の自我を出したらもう駄目なんですよ、自分を。そしたら、もう助けにならないんですよ、自分を捨てないといけないんですよね完全に。

だから、蘭さん自身も自分を捨てちゃうと楽なんですよ。

私自身、自分がまだある間は、こんな時間割いてやってきたのに、この人達ここ

の大事を所なんで分かってくれないうらだろうとか一瞬思うんですよ、すると神様から怒られるんです。

『そんな事思うんだったらなんで助けようと思うんだ！』
って、怒られるから、もうそういうこと思わないようにしてるんですよ。

でも、ご縁があつてこの人たちを助けさせていただく事によつて、自分は勤めを果たしたんだ。

また果たした、果たした・・・。

そして、自分の積んで来た因縁とか毒が消えていくんだなど、ずっとそんな風に切り替えていったんですよね。

やっぱり、色んな方、人間おられます、でも、自分の教訓だなど思ってますね。お前これ出来るのかって言われてるみたい、だけでも、不足するくらいなら最初からすると言われるので、もう何もかも覚悟であたりますね。

私は今から一つ一つ違う視野が広がってきているし、また、歩まないといけないで、それも、段階として訓練させられたと思うんですよね。

だから、蘭さん色んな方とご縁があるのでそこは、いつも苦しいと思うけど、自分自身を持つてる間は難しいと思うんですよ、

自分を捨てて、そして相手の人と接する事によつて魂を磨いていってください。*

： さくらさん :

お正月に私の母が手を合わせているんです。

後婆の母にビックリしました。

先生の年賀状の絵写真を置いているんです。

その写真に母は、朝出かける時、「今日一日宜しく願います。」

帰ってきた時に手を合わせて、「一日有難うございました。」と一所懸命拝んでいるんです。

驚きました。

私はいつも先生に見守って頂いていると思います、感謝を述べていました。母もそうだったと解り、有難いと思いました。

： つばきさん :

さくらさんからそのお話を聞かせて頂いた時に・・・

お守りのような気がし、

パワーを頂けるようで、

助けて頂けるようで、
勇気を頂けるようで、
お年賀のお写真と、おみくじのお言葉を同封し、大事に肌身離さず持っている私は
同感したのよ。

： さくらさん
：
そうですね。

お名前おみくじはバックに入れているんですが、お写真は家族の見えるところに置
いているんです。

大きいお写真欲しいですね。

： つばきさん
：

ある所にお邪魔した時、大きく引きのばした写真を飾ってあって、先生はそれを見
て、恥ずかしい恥ずかしいと言っていましたよ。

： さくらさん
：

お写真を見させて頂く事で、助けて下さっている事よりも、言葉を思い出すよう



な気がします。一人一人に対して、適切な言葉を出してありますよね。その人に必要な言葉をね。

：つばきさん：

すっかり解るんです。

先生に見守って頂いているのが、

『はるみ会は人様を立てる会だと思います。』

人様を立てて、お互いに立てあうからこそ出来るので、会の始から終わりまで学習。だからこそ感謝しあえて、お互いに「有難うございます」の心が生きると思います。』

と、泣いておっしゃった顔と写真が重なるんです。



*
*
*
*
*

* * * * *

— あとがき —

これをしたら、この人は、どう思うだろう

と思うのは、自分がまだかわいいから？

そういう気持ちがある間は

きつと、まだ人の為に動く事が出来ないのかな？

そういう気持ちが無くなって、「無」になったとき

誰かに求められる

自分が求められるときにどれだけその方の方になれるか

はるみ会ひとりひとり、きつと求められる人になっていくと

思っています

第三十五回春瀬会

会場 魚一

日時 平成十八年一月十三日七時半より

— 司会・紫苑さん —

